

# EUROPEAN PATENT OFFICE

## Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 06274072  
PUBLICATION DATE : 30-09-94

APPLICATION DATE : 24-03-93  
APPLICATION NUMBER : 05087809

APPLICANT : SANREI GIKEN:KK;

INVENTOR : IWAMA KATSUMI;

INT.CL. : G03G 21/00

TITLE : CLEANING SHEET FOR PRINTING AND COPYING EQUIPMENT

ABSTRACT : PURPOSE: To provide a cleaning sheet which comes out in a state where dirt adheres to the sheet without being wound round a roll or being wrinkled only by allowing the sheet to pass through the copying and printing part of an OA equipment.

CONSTITUTION: A silicone rubber layer which is heat-resistant and cross-linked, and in which 1-5wt.% adhesive is mixed is provided at least on one surface of a heat-resistant base material; and the JISA hardness of the silicone rubber layer is 15-45°, and the silicone rubber layer is protected by a releasing film.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio

掃シートを紙をセットする位置に挿入して機械内部を通  
過させるのみの簡単な操作で、機械に何ら損傷を与える

ことなく、機械内部の各種ロールに付着した汚れを清掃  
することができる。

# 【手続補正書】

【提出日】平成5年4月30日

## 【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正内容】

【0007】 本発明印刷・複写機器の洗浄シートは基  
材の片面又は両面にシリコーンゴム層を設け、このシリ  
コーンゴム層を離型フィルムで保護したものである。離  
型紙又は離型フィルムとしてはグラシン紙やポリプロピ  
レンフィルムなどの非粘着性フィルム或いは洋紙、プラ  
スチックフィルム等の表面をフッ素樹脂などの剥離剤で  
被覆した紙又はフィルムを使用することもできる。

## 【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正内容】

【0009】 シリコーンゴムとしてはジメチルポリシ  
ロキサンを主鎖とし、重合度1000以下の液状タイプ  
のシリコーン樹脂が使用される。白金等の触媒はこの主  
剤に混合されている。架橋触媒とジメチルポリシロキサ  
ンの約1/10量の架橋剤を配合した場合、硬化後のシリ  
コーンゴムのJIS A 硬度は約20度である。JIS A 硬  
度を調整するためには架橋剤の配合量の増減が一般的  
である。また、より分子量の大きいポリシロキサン、  
或いは側鎖としてエチル基やプロピル基を導入

したポリシロキサンを配合することにより、更にはシリ  
カ粉末を配合することにより、より硬度の大きいポリシ  
ロキサンが得られる。JIS A 硬度の異なる2種以上  
のシリコーンゴムを作製し、両者の配合比を調整する  
ことにより任意の硬度のシリコーンゴムを得ることが  
できる。架橋剤としては、例えば、メチルヒドロゲンボ  
リシロキサンのような活性水素を有するポリシロキサン  
が用いられる。架橋触媒としては、有機白金化合物など  
の白金系架橋剤が一般的であり、架橋前のシリコーン  
ゴム溶液に配合することができる。その他金、銀、パラ  
ジウム等の有機貴金属化合物も使用でき、通常の過酸化  
物触媒も使用可能である。

## 【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正内容】

【0018】 実施例3及び4

2液型シリコーンゴムとして実施例1のXE15-A3  
177と実施例2のYE-8522を重量部にして5  
0:50の割合に配合して用いた以外は実施例1と同様  
にして清掃シートを作製し、実施例3とした。また、2  
液型シリコーンゴムとして、XE15-A3177とY  
E-8522を重量部にして33:67の割合に配合し  
て用いた以外は実施例1と同様にして清掃シートを作製  
し、実施例4とした。実施例3及び実施例4について実  
施例1と同様の試験を行い、表1に併記した。